

平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人 致道博物館

概 況

平成 30 年度は下記のと通りの事業を実施した。

公益目的事業 1 の重点事業(1)の重要文化財旧鶴岡警察署庁舎の公開について、昨年 3 月末に同庁舎保存修理事業が無事終了し、以後公開に向け庁舎内に照明器具等や 1 階事務室に空調設備、階段には手摺等を設置し、覗きケースやパネル台を入れた。また、保存修理事業内容等を紹介したパネル展示及び、2 階大部屋に故近岡善次郎画伯（新庄市出身）の歴史的建造物の水彩画作品を特別出品した。6 月 14 日午後 3 時から旧鶴岡警察署庁舎前で竣工記念式典を行い、関係者 160 名余が出席した。夕方 6 時からは同祝賀会（会場：東京第一ホテル鶴岡）を同事業の寄付者を中心に約 320 名が出席した。翌 6 月 15 日より一般公開を行った。以後、同庁舎では、見学施設のみならず、当館主催の土曜講座や記念講演会などの催し会場としても使用している。

重点事業(2)の重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか 2 棟の防災施設整備事業（国・山形県・鶴岡市補助金で実施）も一昨年 11 月からの 2 ヶ年事業で、30 年度は自動放水銃やポンプ小屋など消火設備の更新、重文旧西田川郡役所避雷針設備の器具交換、防犯設備の新設を行い、3 月末で事業を無事予定どおり終了した。

重点事業(3)歴史的風致形成建造物保存事業として、御隠殿の屋根工事、茶室の茅葺き屋根の葺き替え及び内土蔵の入口・内部の改修工事を行った。

重点事業(4)の鶴岡市文化資源調査では、「大泉叢誌(5)」を刊行した。

保存管理事業では、例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じて適正な保存管理に努めた。また、教育普及事業では、山形県補助事業の「文化芸術体験プログラム支援事業」を活用し、試着体験用の甲冑や「折紙カブト」を制作し、イベントを実施した。このほか講演会やシンポジウム、講座、教室、合同茶会などに延べ 1,458 名が参加受講した。

公益目的事業 2 の展示事業では、企画特別展（山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催）10 件、個展グループ展 2 件、ロビー展 4 件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連して列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、実演などを実施し、好評を博した。特に 9～10 月開催の特別展「刀剣と甲冑」展は、昨年 3 月に重文色々威胴丸の修復記念展として開催し、庄内藩主酒井家伝来の甲冑や県文色々威胴丸（北館神社蔵）、同大鎧（松山文化伝承館蔵）、重文短刀銘吉光（名物信濃藤四郎）、重美短刀銘則国・同景光（山形市・最上義光歴史館寄託）も出品した。期間中の 9 月 16 日には「刀剣男士 信濃藤四郎 in Chido Museum」として「刀剣乱舞-ONLINE-」のコラボイベントも行われ、当日 1,058 名の入館者があり、期間中計 12,103 名（275 名/日）の入館者があった。また、10～11 月の「現代刀職展」では計 5,289 名（299 人/日）と盛会であった。他に一日当たり 140 名以上の入館者の展覧会は 7～8 月の「西郷隆盛と庄内」展（169 名/日）、6～7 月の「庄内近代化物語」展（142 名/日）などが好評であった。入館者総数は 48,415 名（140 名/日）で、昨年度比 95.7%であった。

公益目的事業 3 は鶴岡市から指定管理者の指定を受けた保存活用事業で、平成 25 年度からの国指定史跡旧致道館（旧庄内藩校）、及び昨年 4 月から大宝館の施設保存管理事業・展示事業・普及教育事業等を例年のとおり実施した。特に、致道館では「致道館文化の学習と庄内論語の素読」と題して教育体験講座や研修会、また学校の課外授業での施設利用が多かった。また、大宝館では 8 月に「大宝館夏休みフェスタ！」（大宝館クイズラリーや展示人物総選挙など）を実施し好評を博した。また大宝館は昨年 11 月から今年 3 月中旬まで休館し、屋根葺き替えや内外壁の塗装など大規模修繕が行われた。

最後に、長年当館顧問を務められた富塚陽一元鶴岡市長が昨年 6 月 18 日に、評議員を務められた白幡進・元白鸕社委員長が昨年 11 月 17 日に逝去されたことに対し、哀悼の意を表する。

1. 公益目的事業 1 （事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業）

1-1 重点事業

(1) 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎の竣工と公開

平成 25～29 年度の 5 ヶ年（55 ヶ月）にわたる半解体の保存修理事業（国庫・山形県費・鶴岡市

費補助事業)は昨年3月末に終了し、以後、竣工式典や一般公開に向けて、同庁舎周辺のアスファルト舗装や隣接する赤門を再塗装し、また各部屋に照明器具等やカーテンの設置、1階事務室に空調設備、階段には手摺・滑り止めを設置した。また庁舎内に覗きケースやパネル台を入れ、同庁舎保存修理事業の内容や山形県の警察署制度の歴史等を紹介したパネル展示を行い、2階大部屋には故近岡善次郎画伯(新庄市出身)による庄内地方の歴史的建造物を描いた水彩画作品を特別出品した。

6月14日午後3時から旧鶴岡警察署庁舎前で竣工記念式典を行い関係者160名余が出席、酒井忠久代表理の挨拶後、豊城浩行文化庁文化財監査官、沼澤好徳山形県庄内支庁長、皆川治鶴岡市長から祝辞をいただいた。豊城文化財監査官、沼澤庄内総合支庁長、皆川鶴岡市長、志田英紀県議会議長、齋藤久鶴岡市議会議長及び酒井代表理事がテープカットを行い内覧会に移った。夕方6時から第一ホテル鶴岡を会場に祝賀会を行い、同事業への寄付者等約320名が出席した。翌6月15日より一般公開を行い、以後、同庁舎1階多目的ホールでは、土曜講座や記念講演会、チャリティコンサートなどの会場としても使用した。

(2) 重要文化財旧鶴岡警察署庁ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業

昭和48・49年度に館内の重要文化財旧西田川郡役所、同旧渋谷家住宅を中心に防災設備(火災報知設備、消火設備、避雷針設備等)を国庫補助事業として行い、防災対策を講じてきた。しかし、40年以上経過し、各種設備に経年劣化等が生じたため、平成29・30年度の2ヶ年(14ヶ月)にわたり、国庫・山形県費・鶴岡市費補助事業として防災設備(火災報知設備・消火設備等)の改修及び交換を行い、新たに防犯設備を設置することとなった。2ヶ年目の平成30年度は、消火設備の更新(ポンプ小屋の新設・防火槽の補修、放水銃及び自動放水銃等の設置)、重要文化財旧西田川郡役所避雷針設備の補修、構内の重要文化財建造物等に対する防犯設備(遠隔監視支援装置)が新設された。また昨年度に引き続き当事業に伴う寄付募集を行い、法人各社や個人方々からご寄付をいただき感謝申し上げます。

(3) 歴史的風致形成建造物保存活用整備事業

平成28年度に鶴岡市歴史的風致形成建造物として御隠殿が指定され、今年度その整備事業(鶴岡市補助事業:事業費4,589,460円、内3,000,000円が鶴岡市補助金)の一貫として実施した。事業内容は、8月上旬に茶室「三餘」の茅葺き屋根の全面修理、10月には御隠殿の正面玄関側の北面屋根の下地修理と瓦の敷き直し、12月中旬には内土蔵の入口附近・2階屋根裏の腐食部分の補修、階段の取付、電気設備の設置、及び外周の補修を行った。

(4) 文化資源調査事業

鶴岡市の補助事業として、公益性の高い文化資源として社会に還元するために、当館所蔵の歴史資料などを調査研究した。その内容は山形県指定文化財『大泉叢誌』の筆写・解説・点検・データ入力を実施して活字化、『大泉叢誌(5)』の300冊を出版刊行した。また、『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約50点を解説整理した。

1-2 保存管理事業

(1) 指定文化財の保存管理事業

① 重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・重要文化財旧渋谷家住宅の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅・煙出屋根修繕などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

② 名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

③ 国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手

入れ等を実施した。

④史跡松ヶ岡開墾場内の第一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)・第四番蚕室(庄内農具館)の防災設備の保守点検を実施した。

(2) 博物館資料の保存管理事業

①歴史的建造物等の保存管理

御隠殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装資料・冊子資料の補修・修理、作品資料の額装、美術工芸品や庄内竿・民具等の手入れなどを実施した。資料台帳の整備を進めた。

③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の重要有形民俗文化財「米作り用具」収蔵庫や一番蚕室の「松ヶ岡開墾記念館」や四番蚕室の「庄内農具館」に展示収蔵している博物館資料の管理を行った。また、冬期間の休館期間中、松ヶ岡開墾記念館1階の展示室リニューアル当たり、展示・映像の監修、パネルや印刷物の校正作業を行った。

1-3 展示事業

(1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

1-4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

①公開講演会(日時・場所・内容)

平成31年2月23日(土) 於:ターホール船堀(東京都江戸川区) 東京友の会の集い・講演会
講師 稲田美織氏(写真家・東京都在住) 「神秘の出羽三山」 参加者 98名

②土曜講座(日時・講師・演題)

8月4日(土) 阿部博行氏(鶴岡市史編纂委員) 「戊辰戦争の跡を訪ねて」 参加者 61名
9月3日(土) 岩鼻通明氏(山形大学教授) 「芭蕉の出羽三山参詣」 参加者 36名
10月6日(土) 酒井英一(当館参与) 「古(いにしえ)の金峯山を探る」 参加者 56名

③中国古典講座

日時 4月～12月の毎月7日 8回開催
内容 中国古典「論語」の講義並びに「詩経」の素読
講師 犬塚幹士当館顧問(講義) 水野貞吉荘内南洲会理事長(素読)
受講生 13名(一般) 延出席人数 65名

④古文書講座「もんじょ部」

日時 5月～翌年3月まで月1～2回開催 計18回
内容 平成27年発刊した『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書読み方を解説や「飽海郡史」の一部を輪読した。
講師 菅原義勝学芸員 受講生 9名 延出席人数 126名

⑤その他 子ども体験プログラム(平成30年度山形県文化芸術体験プログラム支援事業採択)

日時・内容 9月29日(日)・30日(日) kATANA DAY クイズ 日本刀 参加 238名
10月13日(月) 甲冑試着体験(講師:甲冑師・熱田伸道氏/協力:荘内甲冑研究会) 参加(子ども・保護者他) 35名
10月14日(日) かぶろう! 特大折紙カブトづくり 参加(子ども・保護者他) 36名
10月20日(土)・21日(日) kATANA DAY クイズ 鎧と兜 参加 203名

(2) 出版事業

- ① 『庄内と大西郷』(第4版/致道ライブラリー2) (300部) 平成30年7月28日発行
- ② 館報「致道」55号(3000部) 平成31年2月発行
- ③ 『大泉叢誌(5)』(300冊) *前述平成31年3月31日発行

(3) 伝統文化普及事業

- ①各流合同茶会 4月22日(日) 於:致道博物館内に4席 表千家・裏千家・遠州流・大日本茶道学会の合同茶会 参加者318名
- ②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催)
5月下旬～8月上旬の毎週土曜日・7月下旬～8月上旬の毎日早朝(5:40～6:15)計15回開催
『論語抄』の素読 7/1 史跡文化財巡り(湯殿山神社と田代侯の民家と月山ダム)
講師 水野貞吉氏(致道館文化顧問)、三矢正士氏(同左)、加藤徹三(致道博物館)、富樫恒文(藩校致道館)、酒井英一(致道博物館)、本間 豊(同左)
受講生12名(小学4年生～中学3年生) 延出席人数104名
- ③「平成30年度東北文化の日推進事業」の参加(事務局 山形県民文化センター課内)
「東北文化の日」(10月最終の土・日曜日)に合わせ、10月27日～11月25日の土・日曜日の小中学生を入館料無料 参加数 計84名
- ④姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)、刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)及び庄内民俗学会の例会の会場として会議室等を提供。

(4) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月(180日間)
解説員10名 延活動人数186名
※学芸員による「致博を知ろう講座」6～7月 計4回 於:御隠殿・旧鶴岡警察署庁舎
- ②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 9月3日～9月8日
実習生/新潟大学1名・日本大学1名・江戸川大学1名・米沢女子短期大学2名 計5名
実習内容/ 美術工芸品(掛軸・巻物・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、古文書資料の整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等
- ③研修会の主な依頼
・鶴岡市文化財愛護協会研修会 9月19日(水) 参加者15名、事務局2名
研修内容/ 「刀剣と甲冑展」及び重文旧鶴岡警察署庁舎の見学
- ④先賢を偲ぶ会 平成31年2月16日(日) 於:御隠殿、講座室(直会)
内容/ 拝礼、講話・酒井忠久(当館館長)「西郷南洲先生と庄内について」参加者42名
- ⑥東京友の会の集い 平成31年2月23日(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)(前出)
- ⑦博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数20件
相談内容/ 書跡・古文書の解読や酒井家文書及び刀剣の保存などに関する事
- ⑧庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力
- ⑨広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年
各種事業の実施にあたっては、新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供を行い、取材協力依頼につとめた。また、類似施設や市内各所へ広報の協力を依頼し、新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った

1-5 調査研究事業

(1) 文化資源調査事業(前出)

(2) 庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理

2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

2-1 展示事業

(1) 企画特別展示事業 (主催事業) 於: 美術展覧会場

☆印: 山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催、◇印: (公財)日本美術刀剣保存協会共催

① ☆見果てぬ空 悠久の刻 前田春治洋画展 4月1日～5月6日 (34日間)

入場者数: 一般 4,253名 / 児童生徒学生 280名 / 計 4,533名

前田春治画伯 (山形市出身、1930～2005) は、東京藝術大学美術学部絵画科を卒業後、東北現代美術協会・北展を結成する。当協会代表として国内外で数多くの展覧会を開催するなど、山形県美術界の発展に尽力し、平成8年齋藤茂吉文化賞を受賞した。本展では故郷山形とシルクロードの風景画を、旧友の故三澤氏所有の作品から、油彩・パステル画計 41 点紹介した。

② ☆重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理完成記念第1部

今川浩満が描く明治建築 “北国の洋館” 5月16日～6月17日 (33日間)

入場者数 一般 3,635名 / 児童生徒学 473名 / 計 4,108名

明治・大正期の洋館に魅せられ、日本各地を訪ねて描き続けた大阪市在住の今川浩満氏のパステル画の中から北海道・東北地方に残る明治期の洋館を描いた作品 90 点を出品した。北海道はアメリカ建築の影響が色濃く残り、東北地方には独自に発展させた工法で建てられた和洋風の建物が残っているといわれる。それらを繊細なタッチで描いた作品の数々を鑑賞する機会を供し、期間中今井画伯のギャラリートークを開催した。

③ ☆重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理完成記念第2部 庄内近代化物語 6月20日～7月25日 (36日間)

入場者数: 一般 4,964名 / 児童生徒学生 141名 / 計 5,105名

明治・戊辰戦争の敗北により、賊軍という苦境に立たされた庄内藩。そこから逞しく立ち上がり、先進的な取り組みに挑戦し、現代への礎を築いた先人たちの軌跡を振り返った。日本の近代化が進むとき、西洋文化を柔軟に学び、伝統的な技術や文化の融合させた庄内の人びとが歩んだ道程の一端を紹介した。特別出品に旧庄内藩主家・酒井忠良伯爵の大礼服を初公開した。期間中、毎週、明治建築 2 棟を巡る学芸員によるギャラリートークを開催した。

④ ☆明治維新 150 年 西郷隆盛と庄内 7月28日～9月5日 (40日間)

入場者数: 一般 6,183名 / 児童生徒学生 574名 / 計 6,757名

明治維新 150 年を記念し、江戸幕府側として戦い抜いた庄内藩の戊辰戦争を、様々な記録、歴史資料から振り返り、戊辰戦争以降の庄内に影響を与えた西郷隆盛 (号・南洲) の教え、「南洲翁遺訓」が発行されるまでの軌跡を辿った。「戊辰戦争絵巻」「破軍星旗」をはじめ、西郷南洲筆の四大字「敬天愛人」など 68 点を出品した。会期中、担当学芸員によるギャラリートークを開催した。酒田市の本間美術館・本間家旧本邸とも連携して広報活動を行い、歴史の理解を深めるための一助とした。

⑤ ☆刀剣と甲冑 ～重文 色々威胴丸修復記念～ 9月8日～10月21日 (44日間)

一般 11,045名 / 児童生徒学生 1,058名 / 計 12,103名

所蔵の重文色々威胴丸 (庄内酒井家初代酒井忠次所用) の修復を記念して開催。庄内に伝わる桃山時代～江戸中期の当世具足などの甲冑をはじめ、鎌倉時代～江戸時代の太刀・打刀・短刀から薙刀・槍などの武具計 46 点を出品し、武家の表道具である武具甲冑の美を紹介した。県文朱塗黒糸威二枚胴具足、刀剣では重文短刀吉光ほか、初公開の「御手杵の槍 (復元)」も出品した。期間中、担当学芸員によるギャラリートークを開催した。また、本展に合わせて「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボ企画や、子ども体験プログラムなどのイベントを実施した。

⑥ ☆◇平成 30 年現代刀職展 今に伝わるいにしへの技 10月24日～11月15日 (23日間)

入場者数: 一般 4,801名 / 児童生徒学生 488名 / 計 5,289名

東京・刀剣博物館開催の巡回展で、刀剣関係の最も権威ある全国展覧会。現代の刀工と刀職による刀剣と刀装具など新作コンクールの入賞作 56 点を出品、全国の現代刀工・刀職たちが時代的特色や流派の特徴などを取り入れながら作刀・制作した作品の工芸美を鑑賞、長い歴史に培われた日本人の美意識と今に息づく伝統の技を紹介した。東京・日本美術刀剣保存協会共催。

期間中上林刀匠の銘切実演や、刀剣博物館学芸員のギャラリートークを実施した。

- ⑧☆新収蔵品展 ～三矢宮松コレクションを中心に～ 11月17日～12月25日(36日間)
入場者数:一般2,448名/児童生徒学生471名/計2,919名
近年寄贈された美術品の中から、故三矢宮松(1907～1959)家の寄贈書画を中心とした展覧会。三矢宮松氏は鶴岡出身で、戦前は皇室林野局長官などを務め、刀剣や書画などに対する造詣も深く、戦後は根津美術館館長として幅広く活躍した。本展では渡辺崋山の花鳥画、藤本鉄石の水墨画、日下部鳴鶴の書幅や短刀銘光包・同銘吉光(土佐吉光)など計48点を出品した。
- ⑨☆歴史の扉 ～江戸時代の訴訟～ H31.1月18日～3月13日(49日間)
入場者数:一般2,475名/児童生徒学生306名/計2,781名
庄内の歴史を読み解くシリーズ展「歴史の扉」。今回は、江戸時代に庄内地域で勃発した訴訟について、庄内藩主酒井家に伝わった古文書や絵図を中心に紹介した。鳥海山山頂をめぐる争論、羽黒山の入会地をめぐる庄内藩と羽黒山との争論、湯殿山の祭祀権をめぐる巻き起こった羽黒山と真言4ヶ寺との争論など、様々な形で起きた訴訟に焦点を当てる。鶴岡市文「夢の浮橋」など計38点を出品した。会期中、ギャラリートークを開催した。
- ⑩☆鶴岡雑物語(於:御隠殿) 3月1日～4月3日(34日間)
入場者数:一般2,836名/児童生徒学生187名/計3,023名
旧庄内藩主酒井家や市内旧家に伝わる古典雑を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識する機会として開催。大名家へお輿入れに持参した雑道具も出品、併せて静岡・赤池コレクションから雛人形の歴史や特徴を学べる貴重な35点を特別出品した。また鶴岡市内の菓子店の協力によって当地方独特のおひな菓子を一堂に展示した。期間中、林直輝氏(日本救済研究所)による講演会や雛菓子づくりなどのイベントを実施した
- ⑪☆旧藩主酒井家美術資料展 3月15日～4月15日(32日間内、H30年度-17日間)
入場者数:一般2,380名/児童生徒学生91名/計2,471名
徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする酒井家は、江戸初期の元和8年(1622)に藩主として入部。以来250年間近く当地の領国経営をしてきた。本展は大名酒井家に伝来する美術工芸品や歴史資料を展示。今回は9代忠徳・10代忠器が関わった藩校致道館の祭器(県文)や祖徠先生答問書(重美)など計43点を出品、貴重な文化財や資料を鑑賞するとともに郷土学習の一助とした。

(2) 個展・グループ展示事業 於:美術展覧会場

- ①かたときのつれづれ ～樋渡美智子・樋渡理志展～ 5月8日～5月14日(11日間)
入場者数:一般734名/児童生徒学生56名/計790名
鶴岡市在住で白叢社会員の樋渡美智子氏と、山形市在住で国画会準会員の理志氏による親子二人展。油彩画・水彩画計計39点を展示鑑賞した。
- ②第39回 鶴岡書道会会員展(共催) H31.1月5日～1月15日(11日間)
入場者数:一般448名/児童生徒学生56名/計504名
昭和8年に設立された鶴岡市にあり流派を越えて活動する書道団体。会員の作品27点とともに鶴岡市の友好都市である江戸川区の書道連盟幹部の賛助作品5点を展示鑑賞した。

(3) ロビー展示事業 ※主催は各団体 於:講座室・ロビー

- ①第15回 庄内姉様人形教室受講生作品展 10月27日～10月29日(3日間)
受講生10名が制作した作品を展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形(紙人形)を紹介するとともに受講生の作品発表の場とした。
- ②第11回「砂の会」作品展 11月1日～11月5日(5日間)
加藤景一氏主宰する「砂の会」会員5名が制作した作品計30点を展示、砂を素材にした砂絵や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

③第12回 寒蘭展（鶴岡東洋蘭同好会と共催） 11月20日～11月25日（7日間）
鶴岡東洋蘭同好会の会員が育てている日本蘭と中国蘭の寒蘭約20鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。

④第14回 東洋蘭展（鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共催） H31.3月20日～3月25日（6日間）
日本春蘭と中国春蘭あわせて約120鉢、蘭に因む掛軸額装作品4点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

①企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演

6月2日（日）於：展覧会場 「今川浩満が描く明治建築“北国の洋館”」ギャラリートーク
講師：今川浩満氏 参加者42名

6月23日（土）／6月30日（土）／7月7日（土）／7月14日（土） 於：展覧会場・旧西田川郡
役所・旧鶴岡警察署庁舎 「庄内近代化物語」展ギャラリーツアー 参加者計31名

7月29日（日） 於：展覧会場 「西郷隆盛と庄内」展ギャラリートーク

講師 菅原義勝学芸員 参加者 計40名

9月8日（土）・10月7日（日）於：展覧会場 「刀剣と甲冑展」ギャラリートーク
講師 本間豊学芸部長 9/8—文化財修理師甲冑・小澤正美氏 参加者 計125名

10月24日（水） 於：展覧会場「現代刀職展」講演会

講師 黒滝哲哉氏（刀剣博物館たたら課長）「現代刀職展の歩み—いにしへの伝承たち—」参加者43名

11月11日（日） 於：展覧会場「現代刀職展」酒井忠久館長による刀剣鑑賞講座 参加30名

10月28日（日）・11月4日（日）・11月11日（日） 於：展覧会場「現代刀職展」の実演
上林恒平刀匠による銘切りプレートの実演

H31.3月9日（土）・10日（日） 於：御隠殿「鶴岡雑物語」展スペシャルトーク

講師 林 直輝氏（日本人形文化研究所所長） 参加者計96名

3月3日（日）・3月31日（日） 於：展覧会場1階ロビー 「鶴岡雑物語」展 雑菓子作りの体験

講師 住吉屋菓子店 参加者計60名

(2) 出版事業

①企画特別展図録 「戊辰戦争を読む」（西郷隆盛と庄内展）、

②各展覧会出品目録・リーフレット・ポスター・ポストカード等

(3) 広報事業

①広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット（ホームページ）などを活用して周知を図った。

3. 公益目的事業3 （事業内容～国指定史跡旧致道館（旧庄内藩校）の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業）

3-1 史跡旧致道館（旧庄内藩校）の保存管理活用事業

指定管理者制度により、鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

① 外構管理

除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃・浄化を行った。

② 建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。利用者の安全安心を確保するために「旧致道館危機管理マニュアル」の徹底を図っている。

(2) 展示事業

① 藩校致道館の沿革・教育・制度・积淀・施設などに関する資料を展示、随時キャプションの改訂を行った。

② 御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語」の素読をBGMで流した。

③ 戊辰の役・明治維新150年を記念した「庄内藩と戊辰戦争、徳の交わり」の展示を行った。

(3) 普及教育事業

① 藩校致道館教育体験教室・講座

8月5日(日) 於：致道館 夏休み研究サポート 江戸時代の学校「致道館」を調べよう
講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 参加者数 6名

② 「孔子祭・致道館の日」式典 (主催：致道館文化振興会議)

9月17日(日) 内容/祭典・祝文奉読・論語素読・講経・講演(致道館)

児童生徒論語体験作文発表会(鶴岡市立鶴岡) 参加者 84名

③ 研修会・講座(主催・各種団体)

4月6日 鶴岡信用金庫新入職員研修会 11名

5月15日 新採教員初任者研修 主催 鶴岡市教育委員会 30名

5月25日 仙台市立仙台青陵中等学校 2年生「致道館の調査研究活動」 11名

6月2日 大崎市古川学園中学校 1年生「致道館学習と素読」 58名

6月7日 米国コロラド州高校生訪問団 18名

7月17日 鹿児島市訪問中学生事前研修会 14名

7月19日 仙台市立上野山小学校 6年生「致道館学習」 80名

7月27日 県立鶴岡中央高校インターシップ 3名

8月5日 夏休み研究サポート事業「江戸時代の学校致道館を調べよう」 6名

8月11日 温海地域リーダー研修会 13名

8月11日 立教大学野球部研修「致道館の教育精神と論語の素読」 72名

8月30日 慶應義塾大学庄内セミナー「致道館の教育精神と論語の素読」 30名

9月4日 弘前大学高瀬准教授研究室 6名

9月13日 鶴岡高専 シンガポール高校生 30名

9月16日 鹿児島市青年団体リーダー国内研修 17名

9月22日 「親子で戊辰戦争の跡をめぐる」 主催 社会教育課 24名

11月13日 市民講座 主催 市中央公民館 27名

11月15日 県立鶴岡中央高校 3年課題国語「致道館教育と論語素読」 30名

H31.1月17日 庄内ミュージアムモニターツアー 主催 庄内開発協議会 13名

4月～3月 三瀬保育園「庄内論語の素読」毎月1回 年間12回 延べ129名

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 以上受講者 計572名

※その他、5団体の行政視察、19団体が研修を実施

④ 学校の授業への協力

学校の授業として(「藩校致道館についての学習」と「庄内論語の素読」)を活用

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 鶴岡市内26校中17校 19学年の児童882名

⑤ 視察・来館者に対する藩校致道館に関する解説説明、助言相談

⑥ 伝統文化の継承普及イベントの共催

10月1日(日) 於：致道館 表千家同門会茶会 305名

- ⑦ 旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。
- ⑧ 広報活動
 - 新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、主催事業については鶴岡市内の各学校を通じてチラシを配布して周知を図った。

3-2 大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として大宝館の管理運営を行い、市の有形文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

① 外構管理

建物（玄関）周囲の草むしり、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃

② 建造物並びに館内管理

- ・建物周囲点検、高山樗牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、防災設備（自動火災報知機・消火器）の保守点検を実施した。
- ・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。
- ・消防訓練は修繕工事で閉館中のため致道館と合同で1月に実施し、予防災害対策を確認した。

③ 大規模修繕工事

平成30年11月から翌年3月中旬まで、施設の老朽化のため、鶴岡市が大規模修繕工事を行うこととなったため、全館閉館した。主に屋根葺き替え、内外壁の塗装や建具修繕工事が行って4月6日（土）より一般公開となった。なお、休館中は事務所を鶴岡アートフォーラム内に移転し、業務を行った。

④ 館内の大宝館説明看板を修繕した。

⑤ 3月末に観光Free Wi-Fiを整備した。

(1) 展示事業

第41期展示（平成30年4月～平成30年11月）※大規模修繕工事のため11月までの開催

① 常設展示

今井繁三郎、伊藤喜久井を展示終了とし、新規展示人物として酒井了恒、茨木のり子、再展示人物として酒井調良を加え32名の人物を展示した。

② 企画展示「明治維新150年～新たな時代の開拓者たち～」

戊辰戦争で庄内藩の主力部隊である2番大隊で活躍した酒井了恒、松本十郎、酒井調良について展示した。

(2) 普及教育事業

③ 「大宝館夏休みフェスタ！」の開催 8月4日（土）～8月19日（日）

- ・大宝館クイズラリー 期間中毎日（参加者260名）
- ・展示人物総選挙 8月4日（土）～8月17日（金）（参加者350名）
- ・ローズウィンドウ～光を楽しむ切り絵を作ろう～ 期間中の土日（参加者106名）
- ・館内見学ツアー 8月4日（土）9:30～10:30（参加者4名）

④ 来館者への大宝館や展示人物に関する解説説明、相談助言

⑤ 広報活動 新聞・テレビ・コミュニティーペーパーなどの報道機関など資料提供や取材協力依頼につとめ、周知を図った。

⑥ その他 人物調査、関連人物情報のスクラップ

4. 収益事業1 （事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売）

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作って販売を行った。

所蔵資料を掲載したクリアファイルなどのオリジナルグッズを作成し販売した。

(2) その他

庶 務 の 概 要

平成31年3月31日現在

1. 役員に関する事項

順不同・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事11名)			評議員	加藤 忍	鶴岡市教育委員会教育長
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会会長	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会長、前ほとり美術館長	〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者
〃	国井 美保	株式会社創造研究所理事	〃	斎藤 秀	(株)きらやか銀行鶴岡支店長
〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事長	〃	小松 幸樹	山形県立博物館長
〃	酒井 忠順	(公財)本岡美術館評議員、東北公文大評議員	〃	橋本 政之	致道館文化振興会議長
〃	鈴木 晃	鶴岡市教育委員会社会教育課長	〃	早坂 剛	鶴岡市観光連盟会長
〃	田中 章夫	(公財)本岡美術館館長	〃	本間 謙三	(公財)本岡美術館副理事長
〃	田中 茂雄	(公財)東北復興研究所理事長	〃	三浦 恒祺	白雲社委員長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会長	〃	堀 誠	松ヶ岡園藝場理事長
〃	本間 豊	(公財)致道博物館学芸部長	(監事2名)		
〃	三矢 正士	致道館文化振興会庶務局長	監事	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役社長
(評議員15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	阿部 進	田川地区高等学校長会代表(鶴岡工業高校長)	(顧問3名)		
〃	石原 純一	鶴岡観光協会会長	顧問	皆川 治	前鶴岡市長
〃	伊藤 博	(株)荘内銀行常勤監査役	〃	田中 尹	前鶴岡農機工業鶴岡御合理事長
〃	大沼 賀世	県文化財審議員、寒河江市文化財審議員	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会会長
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長			

2. 役員会に関する事項

■ 理事会

開会月日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
平成30年 6月 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告の件 ・平成29年度収支決算の件 ・平成29年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成30年度同事業収支予算の件 ・平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業報告及び収支決算の件 ・平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎他防災施設工事の件 ・重要文化財色々威胴丸保存修理事業報告の件 ・平成30年度定例評議員会開催の件 ・顧問選任の件 ・評議員補充候補者推薦の件 	<p style="text-align: center;">可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認</p> <p style="text-align: center;">可 決 承 認</p> <p style="text-align: center;">可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認</p> <p style="text-align: center;">了 承 了 承</p>
平成30年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・入館料改定の件 ・その他 	<p style="text-align: center;">可 決 承 認 了 承</p>
平成31年 2月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度補正予算の件 ・平成31年度事業計画の件 ・平成31年度重文旧西田川郡役所屋屋根棟端飾り修理事業の件 	<p style="text-align: center;">可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認</p>

■ 評議員会

開 会 月 日	議 事 内 容	会 議 の 結 果
平成30年 6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録署名人選出の件 ・平成29年度事業報告の件 ・平成29年度収支決算の件 ・評議員補充選任の件 ・理事会決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①平成29年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成30年度同事業変更の件 ②平成29年度重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業報告の件 ③平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎他2棟(建造物)防災施設等整備事業報告の件 ④重文色々威胴丸保存修理事業報告の件 ⑤顧問選任の件 ⑥寄付金受入支払等現状報告の件 	可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 可 決 承 認 了 承 了 承 了 承 了 承 了 承

■ 執行役会議 毎月1回開催(4月10日、5月9日、6月6日、7月9日、8月9日、9月11日、10月10日、11月9日、12月10日、平成31年1月10日、2月4日、3月11日) 計12回

■ 監 査 5月29日(平成30年度会計監査)

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛 所	内 容	備 考
4月 1日	山形県知事	平成30年度山形県博物館共催事業申請書	4月1日付で承認
〃	〃	平成30年度山形県博物館共催事業負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	平成30年度教育関係事業(致道博物館展示事業)共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	平成30年度致道博物館展示事業共催負担金交請求書	4月1日付で交付決定
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成30年度文化団体等連携支援事業(観覧鞆)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	平成30年度文化団体等連携支援助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成29年度国指定文化財(旧西川邸)管理費補助事業実績報告書	5月10日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧浪谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川邸、旧浪谷家住宅、酒井氏庭園) 〃	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成30年度補助金等交付申請書(平成30年度鶴岡市文化資源調査保存事業)	4月2日付で交付決定
4月 2日	山形県知事	平成30年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書(平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設整備事業)	4月2日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成30年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(同上)	4月2日付で交付決定
〃	山形県知事	平成30年度国指定文化財(旧西川邸)管理費補助事業申請書	4月2日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧浪谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃

4月 2日	鶴岡市長	平成30年度国指定文化財(旧西田川郡役所・旧辰谷家住宅・酒井氏庭園)管理費補助事業申請書	4月2日付で交付決定
4月17日	鶴岡市長	平成29年度補助金保存事業実績報告書(鶴岡市文化資源調査保存事業)	
4月27日	山形県知事	平成29年度山形県博物館共催事業実績報告書	
〃	鶴岡市長	平成29年度致道博物館展示事業実績報告書	
〃 3月31日付にて提出	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成29年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月26日付で交付額確定
5月11日	文化庁文化財部	係官派遣申請書(平成30年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業)	
5月11日	山形県教育庁	職員の派遣について(同上)	8月24日付で承認
5月28日	山形県知事	平成30年度文化芸術体験プログラム支援事業費補助金交付申請書	6月1日付で交付決定
7月10日	鶴岡市長	平成30年度補助金等状況報告書(平成30年度鶴岡市文化資源調査保存事業-7月中旬報告)	
7月11日	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書	7月11日付で受理
7月21日	鶴岡市長	平成30年度補助金等交付申請書(鶴岡市歴史的風致形成建造物保存活用整備事業)	7月31日付で交付決定
7月27日	鶴岡市消防本部	防火体制に関する意見書の提出について(お願い)	
8月 3日	山形県教育委員会	所在の場所変更届(県文色々威闘丸・緋糸威大鏡計2点/「刀剣と甲冑展」に出品の為)	
8月10日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届(甲冑群・総腰輪二十二箇筋兜)	
9月10日	文化庁長官	計画変更承認申請書(平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設整備事業)	10月18日付で承認
9月10日	山形県知事	平成30年度山形県文化財保護事業費補助金事業計画変更承認申請書(同上)	
〃	鶴岡市長	平成30年度補助金事業変更申請書(同上)	
10月 8日	山形県知事	平成30年度山形県国指定文化財管理費補助事業の状況報告	
〃	鶴岡市長	平成30年度補助金等状況報告書(平成30年度鶴岡市文化資源調査保存事業-10月中旬報告)	
10月11日	文化庁長官	重要文化財のき損届(風害による重文旧西田川郡役所・二階北西の棟瓦の一部破損)	
〃	〃	重要文化財のき損届(風害による重文旧辰谷家住宅・南西屋根一部破損)	
10月18日	鶴岡市長	平成30年度補助金等状況報告書(平成30年度鶴岡市文化資源調査保存事業-中間報告)	
10月19日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備他)点検報告書(史跡松ヶ岡闘塙場内、四番茶室及び収蔵庫)	10月19日付で受理
11月16日	文化庁文化資源活用課	対処方針の提出について(重文旧西田川郡役所一地震に対する退所方針)	
〃	山形県教育委員会	同上	
〃	鶴岡市教育委員会	同上	
11月30日	鶴岡市長	平成30年度補助金等交付申請書(鶴岡市Wi-Fi環境整備補助事業)	10月30日付で交付決定
12月10日	山形県知事	平成30年度文化芸術体験プログラム支援事業費補助金実績報告書	
12月23日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画)	12月17日付で受付
12月27日	文化庁長官	重要美術品の所有者変更について(重要美術品・太刀無銘・伝三條)	
平成31年 1月5日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書(重要文化財旧辰谷家住宅内の囲炉裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書)	131.1月8日付で承認

1月9日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第65回文化財防火デー/第2回防火訓練実施計画)	1月9日付で受付
1月18日	鶴岡市長	平成30年度補助金等状況報告書(平成30年度鶴岡市文化資源調査保存事業-中間報告)	
1月21日	鶴岡市長	平成30年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
1月21日	鶴岡市長	平成30年度補助事業等実績報告書(歴史的風致形成建造物保存活用整備事業)	1月28日付交付確定
1月30日	鶴岡市長	消防用設備等(特殊消防用設備等:消火器)点検結果報告書	1月30日付で受理
3月6日	鶴岡市長	平成30年度補助事業等実績報告書(鶴岡市P1-川環境整備補助事業)	3月19日付交付確定
3月19日	鶴岡市消防長	消防用設備等(動力消防ポンプ設備)点検結果報告書	3月19日付で受付
3月13日	文化庁 文化資源課	対処方針の提出について(重文旧渋谷家住宅-地震に対する退避方針)	
〃	山形県教育委員会	同上	
〃	鶴岡市教育委員会	同上	
3月28日	鶴岡市長	歴史的風致形成建造物の一般公開に関する協定書(締結)	
3月31日	山形県教育委員会	平成30年度国宝重文等保存・活用事業補助金実績報告書(平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設整備事業)	4月19日付で確定通知
〃	山形県知事	平成30年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(同上)	4月12日付で確定通知
〃	鶴岡市長	平成30年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書(同上)	4月12日付で確定通知

4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
2月27日～6月17日	史跡藩校致道館	展示資料として 酒井忠器筆「大黒天図」 1幅
4月1日～31年3月31日	山形県金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月1日～31年3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月1日～31年3月21日	鶴岡市教育委員会 (大宝館:郷土人物資料展示施設)	郷土人物資料展示として[斎藤清人]の資料として、刀剣押形、『豊前守藤原清人』、『特別展 山形の刀剣』計 3点
4月1日～31年3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～31年3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネバンドリ 1点
4月1日～30年3月31日	(公益)日本模写会 相模博物館	泉滝福治使用の化粧廻し 1点
4月25日～7月23日	東京藝術大学大学美術館 館・NHK事業センター 他	NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」に、石川静正筆「武邸居宅(観)」・西郷南洲書「敬天愛人」(謄) 1幅 計2点
5月6日～8月31日	山形県立博物館	「転換点-幕末動乱と統一山形-」展に庄内藩旗他 5点
5月28日～31年4月5日	鶴岡市藤沢周平記念館	銅版[『三屋清左衛門残日録』の世界]に鳥刺し竿・庄内竿他 9点
5月31日～8月25日	松山文化伝承館	「松山の宝 激動の明治・藩士が紡いだ美しい松山」に、桑摘みてんど 他 養蚕用具 計8点
5月31日～8月1日	本間美術館	「武士の装いとたしなみ」展に酒井忠發所用紫裾濃腹巻他 計5点
6月18日～10月13日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井重思筆五言絶句「生年不百」 1幅
7月2日～8月10日	(一財)毎日書道会	「第70回毎日書道展特別展 墨魂の昂 近代書道の人々 西郷南洲筆「敬天愛人」、同筆・一行書「虚心寡欲」計2点
7月4日～10月6日	松山文化伝承館	「庄内の刺し子 古きものと新しきもの」展として、バンドリ他15点

7月13日～7月23日	西郷隆盛と幕末三舟の書展実行委員会	西郷南洲筆 箴言「當理・」・同 筆 七言詩「赤子・」 計2点
8月7日～11月28日	鶴岡市郷土資料館	舘展「菅実秀展」に、『黒崎研堂日誌』（明治8～10） 計3冊
8月30日～11月30日	静岡県富士山世界遺産センター	秋物展「江戸絵画の正統（メインストリーム）－19世紀狩野派の旗手 伊川院栄信と晴川院養信」に、狩野常信筆「富士山図」1幅
8月30日～11月30日	山形県立博物館	「ヤマガタの文化・ゆかりの人魚たち」展にナウマンゾウ臼歯化石他 2点
9月5日～H31.1月8日	鶴岡市西郷南洲顕彰会	特展「庄内藩に愛された西郷南洲翁」に、西郷南洲筆「梅花」、酒井忠篤筆七絶「太平洋上作」他 計5点
9月11日～11月28日	鶴岡駅前センター黎明館 NHK事業センター 他	NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」に、西郷南洲書四大字「敬天愛人」・同書五絶「幾歴辛酸」・西郷南洲使用の硯 計3点（寄託）
9月27日 ～H31.1月10日	日本美術刀剣保存協会（刀剣博物館）	「諸国漫遊一多なるお国帯と日本刀五ヶ岳を巡る旅」に打刀拵・鐔一遊樂齋赤文作・黒織色鞘打刀拵、在哉作蝶勝虫透鐔、無銘数珠鐔 計4点
10月10日～12月20日	仙台市博物館	「戊辰戦争150年」展に、戊辰戦争絵巻、朱の丸旗（内蔵） 計2点
10月14日～2月10日	史跡藩校致道館	展示資料として 酒井忠徳筆「大黒天像」（木版） 1点
10月23日～H31.1月9日	京都国立博物館 他	「京かたな－匠の志と職のこころ」展に重文・短刀銘吉光（物信藏齋師） 1振
10月16日～12月7日	村山市・最上川美術館	「致道博物館蔵品 洋画家三人展」に、註柳助（石）・齋藤求（辰蔵）・山本耕作（けん玉）他 計15点
10月16日～12月7日	仙市・最上徳内記念館	「庄内藩の名品と蘭学展」に、徳川十六将図・陣羽織他 計12点
11月1日～12月25日	本間美術館	「日本画の新時代－鞍と礎－」展に富岡鉄斎筆「外遊内観図」他 計2点
H31.1月16日～ 2月13日	トヨタカローラ山形 鶴岡店	「致道博物館所蔵品展」に、佐藤旭撮影「落日暮情（内附）」他8点、小嶋コレクション・ピカ「画家とモデル」（エッチング）他18点、酒井家資料、計30点
H31.1月19日～	鶴岡市藤沢周平記念館	「『又蔵の火』の世界」展に、土屋鷗涯筆『庄内美談』他 計2点
1月26日～3月31日	鶴岡アートフォーラム	「庄内の美藝家たち4 黒崎研堂 松平穆堂 土屋竹雨 ～顔の晴か～」に、黒崎研堂筆五絶「新買五尺」、土屋竹雨筆一行書「冥々之」他 計26点
2月11日～	史跡藩校致道館	展示資料として 白井重思筆五言詩「鳳凰五采文」 1点
2月21日～	遊佐町教育委員会	旧青山本邸・企画展「遊佐と庄内の刺し子」に、ドンザ他 計11点

5. その他

月 日	主 な 事 項
4月12日	山形県教育庁文化財・生涯学習課より平成29年度重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業の検査。
5月10日	鶴岡市教育委員会より平成29年度史跡致道館・大寶館の指定管理の監査。
5月15日	重文旧鶴岡警察署庁舎内の空調設備・照明設備・床張り等補助対象外事業終了。
5月18日	山形県文化環境部生活文化課より会計検査（平成27年度山形県博物館事業（観音堂）共催負担金）
5月26日	首都圏鶴岡会より傘立て（松岡窯）2個、重文旧警察署庁舎竣工記念として寄贈される。
6月1日	文化庁番光調査官来館し、重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟防災施設整備事業に関する現地指導。
6月14日	重文旧鶴岡警察署庁舎竣工記念式典（160名出席）、祝賀会（於：鶴岡ホテル鶴岡/323名出席）
6月15日	重文旧鶴岡警察署庁舎より一般公開はじまる。
8月1日	歴史的風致形成建造物保存修理事業として茶室「三余」の屋根葺き替え（8月13日まで）。
9月16日	おっきいこんのすけ一日警察署長イベント実施。今年最高の入館者1058名。

9月25日	歴史的風致形成建造物保存修理事業として、御隠殿・屋根修理工事を実施（11月5日まで）
10月13日	子ども体験プログラム 甲冑試着体験（14名参加）。翌14日折紙兜作り（16名参加）。
10月17日	吉村美栄子山形県知事来館し、重文旧鶴岡警察署庁舎や「甲冑と刀剣展」を見学視察。
10月18日	本間美術館と姉妹館交流会（酒田市柳・レストラン） 20名参加。
11月18日	鮎旧鶴岡警察署庁舎1階多目的ホールで、第31回山形県民俗研究協議会・研究発表会実施（40名参加）
12月15日	歴史的風致形成建造物保存修理事業で、御隠殿・内土蔵を内外部補修工事（12/25まで）
12月22日	鮎旧鶴岡警察署庁舎1階多目的ホールで、「レデュオサイエンス・ファミリーコンサートを開催（98名参加）
12月27日	第1回防火訓練（避難訓練）11名参加。
旧1月15日	旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始（3月中旬まで）
1月24日	第2回防火訓練（総合訓練）11名参加。
2月16日	先賢を偲ぶの会 42名参加
2月17日	友の会世話人会 25名出席
2月23日	東京友の会のつどい（東京・江戸川区タワーホール船堀） 98名参加。
2月28日	平成30年度鶴岡市Wi-Fi環境整備補助事業、工事終了し、館内にフリーWi-Fiが設置。
3月 8日	平成30年度重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟（鮎）防災施設等整備事業 竣工検査。

資料-1 入館者数(月別)

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一般			学 生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者		
4月	30年度	1,889	683	452	32	41	87	68	3,252
	前年度	1,930	432	585	57	10	121	53	3,188
5月	30年度	2,957	525	580	210	256	217	78	4,823
	前年度	6,177	760	1,033	432	245	535	87	9,269
6月	30年度	2,351	1,064	578	81	42	31	67	4,214
	前年度	4,103	1,196	698	273	93	164	79	6,606
7月	30年度	2,357	1,081	418	49	2	102	82	4,091
	前年度	1,792	861	489	125	5	132	106	3,510
8月	30年度	3,577	648	622	168	1	288	90	5,394
	前年度	2,727	535	502	189	4	289	132	4,378
9月	30年度	5,387	768	813	346	36	255	150	7,755
	前年度	4,559	830	1,318	190	53	310	182	7,442
10月	30年度	4,704	1,495	657	176	15	395	150	7,592
	前年度	3,064	1,858	949	65	45	170	102	6,253
11月	30年度	2,699	1,065	462	70	6	619	172	5,093
	前年度	1,645	910	508	15	74	638	147	3,937
12月	30年度	702	76	199	16	1	160	112	1,266
	前年度	405	223	278	16	2	103	60	1,087
1月	30年度	448	5	333	13	0	195	36	1,030
	前年度	261	105	256	27	13	182	28	872
2月	30年度	558	14	305	31	2	66	20	996
	前年度	372	59	358	18	16	120	22	965
3月	30年度	1,600	226	740	79	3	93	168	2,909
	前年度	1,438	221	975	92	5	86	266	3,083
合計	30年度	29,229	7,650	6,159	1,271	405	2,508	1,193	48,415
	前年度	28,473	7,990	7,949	1,499	565	2,850	1,264	50,590

■松ヶ岡観覧施設 (12月～3月まで休館)

(単位:名)

月	年度	一般			学 生		小中学生	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者		
4月	30年度	145	42	132	2	0	7	8	336
	前年度	173	20	126	0	0	7	15	341
5月	30年度	288	110	85	2	19	78	16	598
	前年度	350	23	108	64	4	17	15	581
6月	30年度	193	212	103	151	0	48	8	715
	前年度	161	70	87	116	0	3	14	451
7月	30年度	201	137	76	5	3	19	13	454
	前年度	215	97	106	1	0	63	0	482
8月	30年度	138	132	111	32	0	20	11	444
	前年度	225	44	103	35	4	21	0	432
9月	30年度	117	384	77	19	0	1	37	635
	前年度	211	100	106	22	0	4	0	443
10月	30年度	249	305	104	0	0	3	6	667
	前年度	269	43	81	2	4	6	1	406
11月	30年度	75	85	24	2	0	2	2	190
	前年度	119	111	59	1	0	4	0	294
合計	30年度	1,406	1,407	712	213	22	178	101	4,039
	前年度	1,723	508	776	241	12	125	45	3,430

資料-2 友の会会員数

(単位:名)

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合 計
平成30年度	233	98	1,305	62	173	2,293	4,164
平成29年度	239	103	1,381	63	182	2,311	4,279
増 減	△ 6	△ 5	△ 76	△ 1	△ 9	△ 18	△ 115

資料一3 入館者総数 (致道博物館)

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,059	32,328	118,387
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793
平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311
平成29年(2017)	45,562	5,028	50,590
平成30年(2018)	44,231	4,184	48,415
総計	4,733,769	1,336,203	6,069,972

*1 昭和25年4月14日開館

*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～12/31

*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

資料-4 新収蔵美術品

【購入】

No.	種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法 cm
1	歴史資料	中根 卓也	夢幻録		紙本・墨書・軸装	4冊	

【寄贈】

No.	種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法 cm
1	絵画	根上 富治	春禽(花鳥図)		絹本・着色・軸装	1幅	129.5×42.2
2	絵画	荒井 篁一郎	婦人図(日向千代氏・横光利一婦人)		絹本・着色・軸装	1幅	129.4×40.0
3	絵画	真嶋 北光	鶏に梨花図		紙本・着色・軸装	1幅	131.5×30.7
4	絵画	真嶋 北光	花鳥画譜		紙本・着色・画帖	1冊	一面:26.7×35.5
5	絵画	松平 穆堂	犬養(毅)と浜口(雄幸)の顔		紙本・墨画・軸装	1幅	133.5×67.6
6	絵画	眞名 菘翁	秋景山水図		絹本・淡彩・軸装	1幅	110.8×36.5
7	絵画	高久 龍古	十六羅漢図		絹本・淡彩・軸装	双幅	123.0×41.7
8	絵画	長尾 雨山	芦雁図		絹本・墨画・軸装	1幅	124.7×30.5
9	絵画	黒崎 研堂他	戯画「庄内孝子」他		紙本・淡彩・まくり	23枚	
10	絵画	酒井 忠真	竹に雀図	江戸中期	絹本・墨画・軸装	1幅	33.5×47.0
11	絵画	中根 卓也	夢幻録	大正～昭和	紙本・着色・冊子	3冊	
12	書跡	高山 樗牛	書簡(弟・良太宛)		紙本・墨書・軸装	1幅	18.0×52.5×2段
13	書跡	徳富 蘇峰	書簡(安達内相閣下宛)		紙本・墨書・軸装	1幅	本文:27.8×19.5 封筒:21.6×16.7
14	書跡	姉崎 嘲風 登張 竹風	樗牛箴言「文は人也…」/俳句「樗牛忌や…」		紙本・墨書・軸装	1幅	箴言:25.0×17.0 俳句:25.0×17.0
15	書跡	酒井 忠篤	一行書「山月照弹琴」		紙本・墨書・軸装	1幅	130.0×33.2
16	書跡	酒井 忠篤	二大字「流芳」		紙本・墨書・軸装	1幅	26.2×60.8
17	書跡	酒井 忠良	五言対句「清風華成響朝日曜増鮮」		絹本・墨書・軸装	1幅	120.3×37.3
18	書跡	酒井 忠良	二行書「南山松柏長愛嘉福」	昭和29年(1954)	紙本・墨書・軸装	1幅	125.5×51.2
19	書跡	酒井 忠良	南洲翁詩句「耐雪梅花麗経霜楓丹」	昭和10年(1935)	絹本・墨書・軸装	1幅	121.0×34.5
20	書跡	酒井 忠明	七言対句「衆花盡愛松千尺百鳥喧時鶴一聲」	昭和30年(1955)	紙本・墨書・軸装	1幅	135.4×68.5
21	書跡	酒井 忠悌	二行書 李商隱之詩「賈生」	昭和25年(1950)	紙本・墨書・軸装	1幅	136.3×34.6
22	書跡	大塚 又太郎	二行書「瑞氣」	昭和45年(1973)	紙本・墨書・軸装	1幅	135.4×34.2
23	書跡	大塚 又太郎	二行書「耐雪梅花」	昭和48年(1973)	紙本・墨書・軸装	1幅	108.8×26.5
24	書跡	大塚 又太郎	阪尾清風先生五絶	昭和48年(1973)	紙本・墨書・軸装	1幅	118.2×28.2
25	書跡	酒井 忠一	一行書「雁去而潭不留影」(菜根譚より)	昭和58年(1984)	紙本・墨書・軸装	1幅	136.0×34.0
26	書跡	酒井 忠治	二行書 孫子・四如「其疾如風其徐如林…」	昭和56年(1981)	紙本・墨書・軸装	1幅	135.2×34.0
27	書跡	吉田 包竹	二大字「汲古」		紙本・墨書・軸装	1幅	26.7×69.0
28	書跡	松平 穆堂	七言詩 偶成「撫石倍…」		紙本・墨書・軸装	1幅	138.8×34.5
29	書跡	松平 穆堂	五言詩「年々空迎歳…」		紙本・墨書・軸装	1幅	138.7×34.8
30	書跡	黒崎 研堂	五律「雁過南窓晚…」他		紙本・墨書・まくり	2枚	142.0×45.5 他
31	書跡	黒崎 幸吉	二大字「天地」(幸吉五年九月月)	明治5年	紙本・墨書・まくり	1枚	62.0×28.5
32	書跡	酒井 忠明	関雉堂雅集(詩巻)	昭和21年	絹本・墨書・卷子	1巻	270.0×25.0
33	工芸		太刀 無銘 伝三條(継:鷲田光中) ※重要美術品	平安後期		1振	長さ:73.9 反り:2.2 目釘穴3ヶ
34	工芸	兼定	刀 銘兼定 附仕込拵	室町期		1振	長さ:65.4 反り:4. 目釘穴3ヶ
35	工芸	兼則	脇指 折返銘越前國住兼則	桃山期		1振	長さ:53.0 反り:1.0 目釘穴4ヶ
36	工芸	盛光	脇指 銘盛光 附黒漆塗拵	室町後期		1振	長さ:42.1 反り:0.3 目釘穴2ヶ
37	工芸	恒光	脇指 額銘恒光 附黒漆塗拵	平安末期		1振	長さ:45.7 反り:0.9 目釘穴2ヶ
38	工芸	安吉	短刀 銘安吉	南北朝		1振	長さ:18.6 反り:0.1 目釘穴2ヶ
39	工芸		黒漆塗合口拵/白鞘			2振	
40	工芸	祐定	短刀 銘備州長船祐定 明應六年二月 附合口拵	明應6年		1振	長さ:17.9 反り:0 目釘穴1ヶ
41	工芸	清光	短刀 銘備州長船清光 永禄十三年二月日	永禄13年		1振	長さ:27.9 反り:0 目釘穴1ヶ
42	工芸	与左右衛門尉 祐定	短刀 銘与三左エ門尉祐定 天正二年八月日	天正2年		1振	長さ:20.3 反り 目釘穴1ヶ
43	工芸	藤原忠国	刀 銘 播磨大掾藤原忠国 附黒漆塗拵	江戸前期		1振	長さ:62.4、反り01.2cm、 目釘穴1ヶ
44	工芸	守弘	脇指 銘守弘 附朱漆塗拵	桃山期		1振	長さ:52.5、反り1.5、 目釘穴1ヶ

No.	種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法 cm
45	工芸	藤原忠廣	脇指 銘近江大掾藤原忠廣 附黒漆塗拵	江戸前期		1振	長さ:56.0、反り1.5、 目釘穴2ヶ
46	工芸		刀 無銘青江	南北朝		1振	長さ:70.6 反り:13.5 目釘穴2ヶ
47	工芸		短刀拵	江戸後期		1振	
48	工芸		サーベル	明治期		1点	
49	工芸		刀 銘 野州住藤原守勝 附黒漆塗拵	室町後期		1振	長さ:69.4 反り:1.8 目釘穴2ヶ
50	工芸		十八學士硯(黒崎研堂所用)			1点	22.0×13.5×7.5
51	工芸		黒崎研堂愛用硯(木製台・蓋付)		石・木製	1面	28.3×17.8×7.5
52	工芸		墨「黄山松煙巖洲」			1点	19.7×2.3×0.9
53	工芸		黒崎研堂所用 墨・朱肉・水差・筆・筆立て他		墨・半円形	40点	
54	工芸		印章		石・木製	76顆	
55	歴史資料	黒崎 研堂	「就木記」	昭和2年	紙本・墨書・冊子	1冊	21.2×13.4
56	歴史資料		研堂黒崎先生記念出版追憶帖(大瀧徳蔵編)	昭和13年	紙本・印刷・和綴冊子	1冊	24.2×16.3×2.5
57	歴史資料		黒崎研堂愛用印章		石・木製	39顆	
58	歴史資料		野坂叫星篆刻印譜集(豆本)		紙本・印刷・冊子	1冊	9.4×7.4×1.2
59	歴史資料		黒崎研堂印譜集		紙本・印刷 和綴冊子	1冊	26.1×19.8×0.5
60	歴史資料	黒崎 潔	印譜帖(黒崎潔氏が教授した教え子たちの印譜)		紙本・印刷 和綴冊子	1冊	16.8×12.0
61	考古		アメリカ出土 石鏃			16点	長さ:9.0~2.9cm

絵画	11件
書跡	21件
工芸品	22件
その他	7件
合計	61件

資料－5 ①旧藩校致道館・平成30年度入館者数

単位：人数

月別	一般	学生	幼小中	合計
4月	2,804	43	234	3,081
5月	3,265	76	113	3,454
6月	2,778	34	253	3,065
7月	2,096	22	157	2,275
8月	2,940	222	249	3,411
9月	3,059	178	146	3,383
10月	3,545	26	161	3,732
11月	2,130	50	456	2,636
12月	759	10	16	785
1月	425	6	25	456
2月	717	17	37	771
3月	1,747	74	64	1,885
計	26,265	758	1,911	28,934

資料－5 ②大宝館・平成30年度入館者数

単位：人数

月別	一般	学生	小中	計
4月	3,828	69	257	4,154
5月	2,468	202	173	2,843
6月	1,785	63	60	1,908
7月	1,325	12	88	1,425
8月	2,123	31	213	2,367
9月	1,988	23	113	2,124
10月	1,241	8	75	1,324
11月	422	0	10	432
12月				
1月				
2月				
3月				
計	15,180	408	989	16,577